



車両管理担当者さまへご案内

アルコールチェック義務化に伴う便利なシステムのご案内

SS21-Report -スマートフォンアプリで運行管理をデジタル化-

SS21-Reportでは、アルコールチェック等の点呼記録をスマートフォンアプリに登録することができます。

点呼記録の電子化（ペーパーレス化）を実現します。

《運行前》



《運行後》



【アルコールチェック記録で必要な項目】

- (1) 確認者名
- (2) 運転者
- (3) 運転者の業務に係る自動車の自動車登録番号
又は識別できる記号、番号等
- (4) 確認の日時
- (5) 確認の方法
ア) アルコール検知器の使用の有無
イ) 対面でない場合は具体的方法
- (6) 酒気帯びの有無
- (7) 指示事項
- (8) その他必要な事項

【注意】SS21-Reportはアルコールチェックの結果を「記録・保管」するサービスです。検知器は別途ご用意が必要です。

令和4年4月と10月に分けて、安全運転管理者へ、下記の業務が義務化

*安全運転管理者とは・・・

道路交通法で、自動車5台以上（乗車定員11名以上のものは1台以上）を使用している事業所ごとに、選任が義務付けられています。

今日も飲酒しつないで!

社用車を運転するのは、**アルコール検知器**でチェックしてからです!

安全運転管理者は、下記の業務が義務化されます

- 4年 運転前後の運転者の状態を自視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること。
- 4年 酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存すること。
- 4年 運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと。
- 4年 アルコール検知器を常時有効に保持すること。

警察庁・都道府県警察

令和4年4月1日施行

- ☑ 運転前後の運転者の酒気帯びの有無を、目視等で確認すること
- ☑ 酒気帯びの有無について記録し、1年間保存すること

令和4年10月1日施行

- ☑ 運転前後の運転者の酒気帯びの有無を、アルコール検知器を用いて行うこと
- ☑ アルコール検知器を常時有効に保持すること

①ハード面

アルコール検知器の導入

アルコール検知器の種類は機能面、価格面において多岐にわたります。使用の用途などお客さま（事業所）に適した検知器の採用が必要です。



②ソフト面

記録の保存・管理

法改正に合わせて必要な項目を記録・保存しなければなりません。「ドライバーの数×運行日数分」の管理が必要になり、管理者の負担は増大します。



業務の増加と煩雑化に備えて運行管理のDX化が急務!

アルコールチェッカーラインナップ

事務所向け 据置型機種

(各事務所に設置)



多機能業務用アルコール検知器

サンコーテクノ 『ST-3000』

高性能センサー「燃料電池式センサー」を搭載。

まずは検知器単体から導入し、

システムアップすることでIT点呼まで幅広く対応。

センサー寿命：1年または70,000回使用(どちらか早い方)

550,000円~/1拠点あたり初期費用

(機器代・システム費用、IC免許証リーダー、セットアップ)

・別途、ランニング費用が発生、拠点同士をつなぐ場合は追加契約が必要となります。

・納期は導入内容により異なりますので、個別にご案内申し上げます。



ST-3000

『直行直帰』の業務には、個人向けもオススメします！

個人向け 携行型機種

(各社員へ配布)



高精度で安定性の高いセンサーを搭載

ブルースカイジャパン 『BL-06』

検査記録保存・専用プリンターで印刷可能

センサー寿命：6ヶ月または10,000回使用

(どちらか早い方)

35,000円/1台

(納期…約2ヶ月)



シンプルなスタンダード設計

ブルースカイジャパン 『BL-01』

使い方もシンプルで手軽に検査可能

センサー寿命：1年または2,000回使用(どちらか早い方)

5,500円/1台

(納期…約2ヶ月以内)



ポータブルでシンプル設計
BL-01

一般用をご検討中の法人様へ

タニタ 『EA-100』

半導体ガスセンサー搭載のコンパクト設計

センサー寿命：1年または1,000回使用(どちらか早い方)

6,000円/1台

*台数により変動

(納期…9ヶ月以上)



※上記は全て税別表記。価格および納期は2022年7月8日時点のものになります。台数により納期の変動がございますので、予めご承知下さい。

※機器によってオプション費用(吸気パイプ)が別途発生しますので、事前にお問い合わせください。

知っていますか？業務用アルコールチェッカーの特長

- ①センサー精度が高い：電気化学式(燃料電池式)センサー採用により、誤反応する頻度が低い
- ②測定可能回数が多い：1万～2万回程度測定できる機種が主
- ③記録を残せる：パソコンやプリンター、本体メモリー等
- ④拡張性が高い：WEBカメラや免許証リーダー、血圧計、点呼システム等との連携

※上記は傾向として記載するもので、該当しない製品もあります。

※測定可能回数に達しなくても使用日数によりメンテナンスが必要になる場合があります。また使用状況により回数が減る事もあります。

アルコールチェッカーの正しい利用で法令順守と安全運行をお願いします

製品に関するお問い合わせ先
総合警備保障株式会社株式会社

金融営業第一部 金融法人営業室 中村 紀孝
住所：東京都港区元赤坂1-6-6
電話：03-3402-7608
メール：nakamura-n2@alsok.co.jp

シャープファイナンス株式会社

提携リース会社 芙蓉オートリース